

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー		平成21年3月25日		中野 勸次郎		〒430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町134-38 (電話) 053-455-2550		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人 爽青会		平成20年3月21日		理事長 中野 勸次郎		〒430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-450-0820		
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
文化・教養	専門課程（文化・教養関係）	動物看護師科3年制		令和 1 (2019) 年度	-	平成26 (2014) 年度		
学科の目的	One Healthの理念のもと、動物の命を守る事で、人々の命と社会生活を守る動物看護師を育成する。							
学科の特徴（取得可能な資格、中途退学者等）	取得可能資格：愛玩動物看護師/愛玩動物飼養管理士2級/ペット栄養管理士/サービス接遇検定/コミュニケーション検定初級 中途退学者：2名（中退率1.8%）							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	3,215 単位時間	1,611 単位時間	0 単位時間	1,604 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員 (A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)		留学生割合 (B/A)				
120 人	100 人	0 人		0 %				
就職等の状況	■卒業有数 (C)		29 人					
	■就職有数 (D)		29 人					
	■就職有数 (E)		29 人					
	■ハイレベル就職有数 (F)		18 人					
	■就職率 (E/D)		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)		62 %					
	■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)		100 %					
	■進学者数		0 人					
	■その他							
	(令和 5 年度卒業生に関する令和 6 年 5 月 1 日時点の情報)							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： ※有の場合、例えば以下について任意記載		無					
	評価団体：	受審年月：	評価結果を掲載したホームページURL					
当該学科のホームページURL	https://www.rap.ac.jp/course/vn/							
企業等と連携した実習等の実施状況（A、Bいずれかに記入）	(A：単位時間による算定)							
	総授業時数		3,215 単位時間					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		180 単位時間					
	うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間					
	うち必修授業時数		2,880 単位時間					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		180 単位時間					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		300 単位時間					
	(B：単位数による算定)							
	総授業時数		単位					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位					
	うち企業等と連携した演習の授業時数		単位					
	うち必修授業時数		単位					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位					
教員の属性（専任教員について記入）	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者（専修学校設置基準第41条第1項第1号）		2 人					
	② 学士の学位を有する者等（専修学校設置基準第41条第1項第2号）		2 人					
	③ 高等学校教諭等経験者（専修学校設置基準第41条第1項第3号）		0 人					
	④ 修士の学位又は専門職学位（専修学校設置基準第41条第1項第4号）		0 人					
	⑤ その他（専修学校設置基準第41条第1項第5号）		1 人					
	計		5 人					
	上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね 5 年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数		5 人					

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（１）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩のかつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

（２）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

（３）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
村瀬 晋司	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
清水 香織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
下司 睦子	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
鈴木 保子	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
佐伯潤	帝京科学大学	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	②
旭あすか	りんごの樹動物病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（１企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（４）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

教育課程編成委員会は10月および2月の年2回開催とする

（開催日時（実績））

第１回 令和6年10月1日 17:00～18:30

第２回 令和7年2月25日 14:00～15:30

（５）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

国家資格を保有する愛玩動物看護師が、動物病院に今以上に貢献する方法として、超音波検査等の画像診断の検査技術向上や高齢動物ケア、リハビリテーションの知識習得、動物病院以外での活躍の場として、動物愛護管理センター、シェルター、出版社、保険会社等への就職方法を検討する

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（１）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

臨床現場で必要とされる看護技術および症例検討を重視した授業を実施するため、現役獣医師や動物看護師を派遣していただける企業を選定している。また、期末には試験を実施して、評価までを依頼している。

（２）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

2・3年生の授業を中心に、4月から1月にかけて27回の授業を実施。講義や実習を通して、現在の臨床現場に必要な知識・技術を現役獣医師・動物看護師から学ぶ。授業理解度、積極性、筆記試験や実技試験による習得度を確認の上、評価をお願いしている。

（３）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物臨床看護学各論	内科的疾患について疾患の機序と症状、検査法、治療法を理解出来る。	片浜どうぶつ病院
動物外科看護学	外科的疾患について疾患の機序と症状、検査法、治療法を理解出来る。	日本動物高度医療センター 名古屋病院
動物内科看護学実習	臨床検査の手順や検査結果を理解し、検査が実践出来る。	アサギ動物病院
動物病理学	疾病の成り立ちと回復の促進に寄与する動物看護方法を理解できる	だて動物病院
動物薬理学	獣医療現場で使用される主な薬剤の特性、作用機序、有害作用を理解し、薬剤を正しく取り扱うことが出来る。	マスタ動物クリニック

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（１）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条（教育）に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

（２）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	日本臨床獣医学フォーラム2023年次大会	連携企業等：	一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム
期間：	令和5年9月23日（土）24日（日）	対象：	動物看護師科教務4名
内容	最新の獣医療に関する知見を各獣医師、製薬会社、医療機器メーカーより学ぶ。同時に海外からの演者によるセミナーにて獣医療の今後の動向を確認する。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	新任教員研修	連携企業等：	静岡県職業教育振興会
期間：	令和5年8月7日（月）	対象：	動物看護師科教務4名
内容	専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。		

（３）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	日本臨床獣医学フォーラム2024年次大会	連携企業等：	一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム
期間：	令和6年9月21日（土）・22日（日）	対象：	動物看護師科教務4名
内容	最新の獣医療に関する知見を各獣医師、製薬会社、医療機器メーカーより学ぶ。同時に海外からの演者によるセミナーにて獣医療の今後の動向を確認する。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	新任教員研修	連携企業等：	静岡県職業教育振興会
期間：	令和6年8月1・2日	対象：	動物看護師科教務3名
内容	専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流（必要に応じて）

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い

→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置
就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種類の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。（例）企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他 ())

URL : https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf

公表時期 : 令和6年5月12日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革（公式WEBサイト）
(2) 各学科等の教育	学科紹介（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(3) 教職員	講師・設備（公式WEBサイト）
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ（公式WEBサイト）
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ（公式WEBサイト）
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類（公式WEBサイト）
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書（公式WEBサイト）
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ (広報誌等の刊行物) ・ その他(説明会での説明)

URL : <https://www.rap.ac.jp/about/information/>

公表時期 : 随時

授業科目等の概要

(専門課程 (文化・教養関係) 動物看護師科3年制)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			生命倫理・動物福祉	生命倫理の考え方及び動物福祉の概要を学び、愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物の福祉を考えられる。	1・通	30		○			○		○		
2	○			動物形態機能学Ⅰ	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。	1・通	60		○			○		○		
3	○			動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	1・通	30		○			○			○	
4	○			動物栄養学Ⅰ	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージごとの食事の違いを学び、解説する事が出来る。	1・通	30		○			○		○		
5	○			動物看護関連法規	愛玩動物看護師法や獣医師法等、動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する事が出来る。	1・通	30		○			○			○	
6	○			動物愛護・適正飼養関連法規	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。	1・通	30		○			○			○	
7	○			動物看護学概論	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。	1・通	30		○			○			○	
8	○			動物感染症学Ⅰ	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、感染防御に関わる基礎について理解する。	1・通	36		○			○			○	
9	○			公衆衛生学Ⅰ	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防と動物がどのように関わっているか理解する。	1・通	30		○			○			○	
10	○			動物内科看護学Ⅰ	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血に必要な検査、所見の記録等について理解する。	1・通	30		○			○			○	
11	○			動物臨床検査学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。	1・通	30				○	○		○		
12	○			愛玩動物学	愛玩動物や使役動物の歴史、品種、役割、適切な飼養管理方法を理解する。	1・通	60		○			○			○	
13	○			人と動物の関係学Ⅰ	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。	1・通	12		○				○		○	
14	○			動物形態機能学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。	1・前	24				○	○		○		
15	○			動物内科看護学実習Ⅰ	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する。	1・通	90				○	○		○	○	○
16	○			動物臨床検査学実習	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。	1・通	90				○	○		○		
17	○			動物愛護・適正飼養実習ⅠA	動物のトレーニング実習を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	1・前	22				○	○		○		
18	○			動物愛護・適正飼養実習ⅠB	トリミング実習を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	1・後	68				○	○			○	
19	○			動物愛護・適正飼養実習ⅠC	動物の飼育を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	1・通	26				○	○		○		
20	○			動物看護総合実習Ⅰ	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。	1・後	60				○	○	○	○		○

21	○		動物医療コミュニケーションⅠ	社会人としての常識を身に付けるとともに、サービス接遇検定を取得する。	1・通	60		○			○		○					
22	○		一般教養	高校までに学習する生物基礎、計算、語彙力を確認し、専門学習を行う基盤とする。	1・通	42		○			○		○					
23	○		コンピュータ実習	Word、Excel、PowerPointの使い方を理解し、実践的に使用出来る。	1・前	24					○	○	○					
24	○		就職実務Ⅰ	動物看護総合実習に望む学生として、安全に配慮した基礎的な動物看護を実践できると共に、一般教養としての履歴書の作成、電話応対が出来る。	1・後	18		○			○		○					
25	○		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1・通	28		○			○		○					
26	○		ルネサンス・メソッド	本校の原点となる理念や考え方を履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図る。	1・通	28		○			○		○					
27	○		挨拶Ⅰ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1・通	28					○	○	○					
28	○		清掃Ⅰ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1・通	28					○	○	○					
29	○		動物関連施設実習	動物関連施設における実習を通し、動物関連の様々な職種を理解できる。	1・特別	30					○		○	○				
30	○		動物形態機能学Ⅱ	動物の生命維持の仕組みを機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的变化について学ぶ基盤を確立する。	2・通	60		○			○					○		
31	○		動物繁殖学	繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生児管理、遺伝学の基礎知識を習得する。	2・通	30		○			○		○					
32	○		比較動物学Ⅰ	飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法について学ぶ。	2・通	60		○			○		○	○				
33	○		動物病理学Ⅰ	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態(炎症、腫瘍等)について理解する。	2・後	18		○			○				○		○	
34	○		動物薬理学Ⅰ	代表的な薬物の動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	2・後	36		○			○		○				○	
35	○		動物感染症学Ⅱ	微生物の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染防御に関わる基礎について理解する。	2・後	36		○			○		○					
36	○		公衆衛生学Ⅱ	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症の概要を理解し、人と動物の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	2・通	30		○			○		○					
37	○		動物内科看護学Ⅱ	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、心電図、X線検査、超音波検査、眼科検査に必要な検査、所見の記録等について理解する。	2・通	60		○			○		○					
38	○		動物外科看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を習得する。	2・通	60		○			○				○		○	
39	○		動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を習得する。	2・通	30		○			○				○			
40	○		動物臨床看護学各論Ⅰ	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。	2・通	90		○			○				○		○	
41	○		動物医療コミュニケーションⅡA	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。	2・通	30		○			○				○			
42	○		人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心を高める。	2・通	18		○				○		○				
43	○		動物生活環境学	動物の行動様式を理解した上で、ペットツーリズム関連施設、保護収容施設、ペットの事故や怪我などのリスク除去軽減や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境の在り方を理解する。	2・通	30		○			○		○					
44	○		動物形態機能学実習Ⅱ	動物の内臓器官の配置や組織像に見られる代表的な構造に関し、機能と関係について理解する。	2・前	12					○	○	○					
45	○		動物内科看護学実習Ⅱ	生体検査における必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する。	2・通	90					○	○	○	○			○	

46	○		動物外科看護学実習Ⅰ	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助など、動物の外科学で学んだ知識の実践力を習得する。	2・後	54				○	○		○	○		
47	○		動物愛護・適正飼養実習ⅡA	動物のトレーニング実習を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや問題行動の解決法など、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	2・通	56				○	○		○			
48	○		動物愛護・適正飼養実習ⅡB	トリミング実習を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや日常のケア方法など、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	2・前	44				○	○		○	○		
49	○		動物愛護・適正飼養実習ⅡC	動物の飼育を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや動物の世話の後輩への指導を通して、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	2・前	10				○	○		○			
50	○		動物看護総合実習Ⅱ	受付業務、院内コミュニケーション、診療補助等の臨床経験から、専門職としての知識を活かして技術を実践できる。	2・後	60				○		○	○			○
51	○		保定実習Ⅰ	犬猫の処置や検査に適した保定が実践できる。	2・前	30				○	○		○			
52	○		海外授業	海外の動物病院、動物保護施設の見学を通して、日本流ペットケア・動物看護を考える事ができる。	2・後	30				○		○	○			
53	○		就職実務Ⅱ	就職活動に必要な情報収集、履歴書の作成方法やメールスキル等を身に付け、就職活動に備える事ができる。	2・前	12		○				○		○		
54	○		動物医療コミュニケーションⅡB	社会人として常識を身につけると共に、コミュニティ検定資格を取得する。	2・通	30		○			○		○	○		
55	○		LHR	社会人に必要な協調性を学びクラス活動に活かすことができる。スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	2・通	30		○				○		○		
56	○		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2・通	30					○	○		○		
57	○		清掃Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2・通	30					○	○		○		
58	○		動物栄養学Ⅱ	ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給仕方法を学び、解説する事が出来る。	3・通	48		○				○		○		
59	○		比較動物学Ⅱ	実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。	3・後	24		○					○		○	
60	○		動物病理学Ⅱ	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態（循環障害、先天異常等）について理解する。	3・前	12		○				○			○	○
61		○	動物薬理学Ⅱ	代表的な薬物の動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	3・前	24		○				○			○	○
62	○		動物感染症学Ⅲ	免疫、アレルギー、ワクチン等について学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染防御について理解する。	3・前	24		○					○		○	
63	○		動物臨床看護学各論Ⅱ	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。	3・通	48		○				○			○	○
64		○	適正飼養指導論	愛玩動物の効用や使用目的を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解し、説明できる。	3・通	60		○				○		○		
65		○	ペット関連産業概論	ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識、手法を理解する。	3・通	48		○					○		○	
66		○	動物外科看護学実習Ⅱ	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助など、動物外科看護学で学んだ知識を実際の手術を通して習得する。	3・通	72					○	○		○	○	
67		○	動物臨床看護学実習	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識を活かして実践する。	3・通	72					○	○		○	○	
68	○		動物愛護・適正飼養実習A	犬の行動原理を学び、緊急時の犬の反応にも対応する事が出来る。	3・通	44					○	○		○		
69	○		動物愛護・適正飼養実習B	シャンプー仕上げの技術を発展させ、病状に合わせたグルーミングを身に付ける事が出来る。	3・通	44					○	○		○	○	

70	○		動物看護総合実習Ⅲ	臨床の現場において、動物看護師の立ち位置、重要性、働き方を学び、就職後の自分の目標を見つける事が出来る。	3・後	60				○		○	○		○
71	○		選択) 応用動物看護実習	(選択)専門分野企業への就職に備えて、分野毎の特殊な看護技術を習得する事が出来る。	3・通	(96)				○	○		○		
72	○		選択) ドッグトレーニング実習	(選択)パピー教室開催に向けた準備と企画が出来る。	3・通	(96)				○	○		○		
73	○		選択) グルーミング実習	(選択)AAVサロントリマー検定の資格を取得する事が出来る。	3・通	(96)				○	○			○	
74	○		保定実習Ⅱ	犬、猫に加えてエキゾチックアニマルの保定方法を身に付け、実践する事が出来る。	3・後	12				○	○		○		
75	○		動物医療コミュニケーションⅢ	社会人としての常識を身につけると共に、ケアコミュニケーション検定資格を取得する。	3・通	24		○			○			○	
76	○		POPデザイン演習	飼主の心をつかむPOP制作を学び、動物病院と飼い主のコミュニケーションツールを身に付ける事が出来る。	3・後	24		○			○			○	
77	○		実務実習	各就職先に合わせた知識・技術を向上し、即戦力となる人材になる。	3・後	120				○	○		○		○
78	○		海外授業	海外の動物病院、動物保護施設の見学を通して、日本流ペットケア・動物看護を考える事ができる。	3・後	30				○		○	○		
79	○		卒業試験対策	国家試験、卒業ライセンス試験の対策として、これまでのまとめを行うと共に、試験の準備を行う。	3・後	24		○			○		○		
80	○		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	3・後	36		○			○		○		
81	○		心理学	人の心理学を学ぶ事で、スタッフ間のコミュニケーションを円滑にし、勤務しやすい企業環境を作る事が出来る。	3・後	24		○			○				
82	○		挨拶Ⅲ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	3・後	24				○	○		○		
83	○		清掃Ⅲ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	3・後	24				○	○		○		
合計				83科目 科目			3228 単位(単位時間)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席		1 学年の学期区分	2 期
履修方法：必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講		1 学期の授業期間	1期：4/1-8/31 2期：9/1-3/31

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地															
専門学校ルネサンス・ベ ット・アカデミー		平成21年3月25日		中野 勸次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町134-38 (電話) 053-455-2550															
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地															
学校法人 爽青会		平成20年3月21日		理事長 中野 勸次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-450-0820															
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度														
文化・教養	専門課程（文化・教養関係）		ペットエステ・トリミング科 3年制		令和 1(2019)年度	-	令和 3(2021)年度														
学科の目的		愛犬に最適なスタイルを提案できる幅広いカットスタイルを身につけた、ベッ トスタイリストを育成する。																			
学科の特徴（取得 可能な資格、中退 率 等）		取得可能資格：愛玩動物飼養管理士2級/ペット栄養管理士/サービス接遇検定3級/ 中途退学者：1名（中退率9%）																			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単 位数		講義	演習	実習	実験	実技													
3 年	昼間	※単位時間、単位いずれか に記入		3,208 単位時間	0 単位時間	2,725 単位時間	0 単位時間	0 単位時間													
		単位		単位	単位	単位	単位	単位													
生徒総定員	生徒実員 (A)		留学生数（生徒実員の内数）(B)		留学生割合 (B/A)																
30 人	10 人		0 人		0 %																
就職等の状況	■卒業者数 (C)		2		人																
	■就職希望者数 (D)		2		人																
	■就職者数 (E)		2		人																
	■地元就職者数 (F)		1		人																
	■就職率 (E/D)		100		%																
	■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)		50		%																
	■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)		100		%																
	■進学者数		0		人																
	■その他																				
	(令和 5 年度卒業者に関する令和 6 年 5 月 1 日時点の情報)																				
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： ※有の場合、例えば以下について任意記載		無																		
	評価団体：		受審年月：		評価結果を掲載した ホームページURL																
当該学科の ホームページ URL	https://www.rap.ac.jp/course/pg/																				
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(A：単位時間による算定)																				
	<table><tr><td>総授業時数</td><td>3,208 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr><tr><td>うち必修授業時数</td><td>3,208 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>400 単位時間</td></tr></table>								総授業時数	3,208 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間	うち必修授業時数	3,208 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)
総授業時数	3,208 単位時間																				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間																				
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間																				
うち必修授業時数	3,208 単位時間																				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間																				
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間																				
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	400 単位時間																				
	(B：単位数による算定)																				
	<table><tr><td>総授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位</td></tr></table>								総授業時数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位	うち必修授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)
総授業時数	単位																				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位																				
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位																				
うち必修授業時数	単位																				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位																				
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位																				
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位																				
教員の属性（専任 教員について記 入）	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等において その担当する教育等に従事した者であつて、当該専門課 程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六 年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		2 人																
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		1 人																
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0 人																
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0 人																
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		1 人																
	計				4 人																
	上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の 実務の能力を有する者を想定）の数				2 人																

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（１）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

（２）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

（３）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在			
名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
伊藤 雪野	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
村木 美里	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
藤野 愛美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
鈴木 茜里	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
浅野 順平	TeRRieRge 代表取締役社長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③
櫻井 春輝	株式会社ルミナス 代表取締役	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③
福山 貴昭	ヤマザキ動物看護大学 准教授	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（４）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
教育課程編成委員会は12月および2月の年2回開催とする（外部委員検討中）
（開催日時（実績））
第1回 令和5年9月27日 13:00-14:30
第2回 令和6年2月8日 10:00-11:30

（５）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ①トリマーを目指す学生が学べき皮膚病に関する知識レベルを確認し、犬猫健康管理学の授業で皮膚疾患の症状についての内容を追加。また薬品メーカーによる、薬用シャンプーに関する特別セミナーを実施。
- ②それぞれの病院・店舗で使っているカウンセリングシートを参考に、ルネサンス独自のカウンセリングシートを作成し、実習時の受付対応にて飼い主様の要望や悩みを聞き出す実践を行った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（１）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

トリマーは接客業であり、コミュニケーション力は必須のビジネススキルである。接客スキルの向上を目的に、元キャビンアテンダント等高い接客技術を持つ講師を派遣していただける企業を選定している。また、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導から学修成果の評価を行うなどの体制をとることが可能な企業を選定している。

（２）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から1月にかけて、週1日90分間の授業を27回実施。トリミングスキルと同等以上にトリマーに求められるコミュニケーション力・接客力を向上させるため、講義系授業においてもロールプレイングを交えた指導を実施。普段の授業の理解度と積極性、また筆記試験による習得度の確認の上、評価している。

（３）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
接客技術Ⅰ	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、サービス接客検定に合格する。	浜松ビジネススクール
接客技術Ⅱ	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイングを交えて学び、ビジネス実務マナー検定に合格する。	浜松ビジネススクール
接客技術Ⅲ	ビジネス実務マナー検定、サービス接客検定2級取得を目指し、実践で利用できる様になる。	浜松ビジネススクール

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（１）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条（教育）に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

（２）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	かわいいカットセミナー	連携企業等：	株式会社プランテージ
期間：	令和5年6月22日（木）	対象：	ペットエステ・トリミング科 教務3名
内容	グルーミングでのワンちゃんのかわいい顔バランスの考え方、ポメラニアンのかわいいカットについて		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	新任教員研修	連携企業等：	静岡県職業教育振興会
期間：	令和5年8月5日（金）	対象：	ペットエステ・トリミング科 教務1名
内容	専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。		

（３）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	犬に優しいカットセミナー	連携企業等：	株式会社プランテージ
期間：	令和6年9月10日（火）	対象：	ペットエステ・トリミング科 教務4名
内容	犬の扱い方、犬に優しいトリミング技術について学ぶ		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	新任教員研修	連携企業等：	静岡県職業教育振興会
期間：	令和6年8月7日（月）、8月8日（火）	対象：	ペットエステ・トリミング科 教務1名
内容	専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で開催し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流（必要に応じて）

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い→再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置、就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他 ())

URL : https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf

公表時期 : 令和6年5月12日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介 (公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3) 教職員	講師・設備 (公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績 (公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ (公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項 (公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類 (公式WEBサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書 (公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ (広報誌等の刊行物) ・ (その他 (説明会での説明))

URL : <https://www.rap.ac.jp/about/information/>

公表時期 : 随時

授業科目等の概要

(専門課程(文化・教養関係) ペットエステ・トリミング科3年制)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			人と動物の関係学Ⅰ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	1・通	15		○				○		○	
2	○			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級に合格する。	1・通	54		○			○			○	
3	○			グルーミング研究Ⅰ	グルーミングに関するテーマを設定し、自身で探究したものをプレゼンできる。	1・後	16				○	○		○		
4	○			犬猫の健康管理学Ⅰ	犬猫の栄養管理、ワクチン接種、寄生虫、解剖を学び、健康チェックを行う事が出来る。	1・前	22		○			○		○		
5	○			犬種学	FCIで行われている犬種のグループ分けに従い、歴史、特徴を理解し、トリミングを行う事が出来る。	1・前	11		○			○		○		
6	○			動物関連施設実習	動物関連施設の視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1・特別	30				○		○	○		
7	○			動物飼育実習Ⅰ	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ)を通して飼育管理ができる。	1・通	54				○	○		○		
8	○			グルーミング実習Ⅰ	犬のグルーミングを通して、犬の保定、手順、時間配分、犬とのコミュニケーションを身に付ける。	1・通	585				○	○		○	○	
9	○			動物看護実習Ⅰ	動物病院で行われている、健康診断、保定、消毒方法、検査を身に付ける。	1・後	32				○	○		○		
10	○			ドッグトレーニング実習Ⅰ	犬への基本的なしつけを行いながら、その方法を学び、行動学的観点から犬の扱い方を身に付ける。	1・前	22				○	○		○		
11	○			トリマー接客技術Ⅰ	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、サービス接客検定に合格する。	1・通	54		○			○			○	○
12	○			コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付ける。	1・前	22				○	○		○		
13	○			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1・後	16		○			○		○		
14	○			清掃Ⅰ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1・通	27				○	○		○		
15	○			挨拶Ⅰ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1・通	27				○	○		○		
16	○			就職実務Ⅰ	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を開始できる。	1・後	16		○			○		○		
17	○			ルネサンス・メソッド	本校の原点となる理念や考え方を履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図る。	1・通	20		○			○		○		
18	○			人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2・通	6		○				○		○	
19	○			ペットショップ実務	業界動向を知り、ペットショップでの販売や売り上げなど、実践的な実務を理解することができる。	2・後	11		○			○		○		
20	○			グルーミング理論Ⅱ	犬種の特徴を基にしたグルーミングを考えることができ、飼い主様へ分かりやすく説明できる。	2・前	10		○			○		○		

21	○			動物行動学	グルーミング時に起こる犬の行動を理論的に理解し、その対処が実践でき、飼い主様へ説明できる。	2・通	21		○			○		○		
22	○			犬猫の健康管理学Ⅱ	犬猫のフードと栄養、犬の繁殖、遺伝について学び、正しいブリーディングを説明できる。	2・後	22		○				○		○	
23	○			トリミング実習	カットスタイルを学び、実際の飼い主様の要望を聞き、一般モデル犬にトリミングを実践できる。	2・通	472					○	○		○	○
24	○			ペットエステ実習	ペットエステの理論と技術を学び国際資格を取得に向けて、学校犬または自宅犬への施術できる。	2・後	33					○	○		○	
25	○			動物看護実習Ⅱ	動物病院でのオーナーコミュニケーション、電話対応、健康診断を身に付け実践できる。	2・前	20					○	○		○	
26	○			ドッグトレーニング実習Ⅱ	犬の行動から、精神面を推測し、一般的な対処方法を学ぶと共にトリミングでも応用できる。	2・後	22					○	○		○	
27	○			動物飼育実習Ⅱ	学校飼育動物（犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ）をとおして飼育方法を説明できる。	2・前	10					○	○		○	
28	○			クリップ研究	ケネルクリップ、ペットクリップの研究をし、なぜそのカットにするのかをお客様へ伝える事が出来る。	2・前	20		○				○		○	
29	○			海外授業	その土地の文化や最先端に触れ、トリミングのあり方や将来を考えることが出来る。	2・後	30					○			○	○
30	○			インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見とあるべき姿を明確にする。	2・前	200					○			○	○
31	○			トリマー接客技術Ⅱ	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイングを交えて学び、検定に合格する。	2・通	21		○				○			○
32	○			清掃Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2・通	21					○	○		○	
33	○			挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2・通	21					○	○		○	
34	○			LHRⅡ	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	2・通	21		○				○		○	
35	○			就職実務Ⅱ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施し内定獲得につなげる。	2・前	10		○				○		○	
36	○			実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての心構えと役割を理解する事が出来る。	2・後	120					○	○		○	
37	○			グルーミング理論Ⅲ	就職後の新人トリマーとしての必要業務である電話や電子カルテを学び、実行できる。	3・通	21		○				○		○	
38	○			経営学	店舗経営者の考え方や発想を学び、将来トリマーとして広い視点を持った人材になる。	3・前	20		○				○			○
39	○			模擬サロン計画	模擬サロン実習から反省を出し、次回へ活かすべく計画する能力を身に着ける。	3・後	22		○				○		○	
40	○			卒業研究	就職後に必要とされる知識や技術の向上を目指して、個々のテーマを設定し発表を行う。	3・後	22					○	○		○	
41	○			動物看護実習Ⅲ	トリミング中に発生する動物の病気、怪我等へ適切に対処し、飼い主様にも説明ができる。	3・後	22					○	○		○	
42	○			ペットエステ実習	ペットエステの効果を理解し、ハーブバックなどの高度なエステなどを反復して施術し、一般飼い主様に提供できる。	3・前	20					○	○		○	
43	○			トリミング実習Ⅲ	模擬サロン実習、デザインカット実習等、これまでのトリミング技術を応用できる。	3・通	473					○	○			○

44	○		ドッグトレーニング実習Ⅲ	実際のトリミングで発生する犬の嫌がる行動などを分析し、対処を方法を学び活かすことができる。	3・通	21				○	○	○		
45	○		動物飼育実習Ⅲ	飼育実習のグループリーダーとなり、小動物のお世話を後輩または飼い主様にアドバイスできる。	3・前	10				○	○	○		
46	○		インターンシップ	希望職種へのインターン実習を通してプロとなるために不可欠な課題の発見とあるべき姿を明確にさせる。	3・前	200				○		○	○	○
47	○		海外授業	海外におけるトリミングの在り方を学び、日本流トリミングの在り方や将来を考える事が出来る。	3・後	30				○		○	○	
48	○		清掃Ⅲ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	3・前	21				○	○	○		
49	○		挨拶Ⅲ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	3・通	21				○	○	○		
50	○		トリマー接客技術Ⅲ	コミュニケーション検定、サービス接客検定2級取得を目指し、実践で使用できる様になる。	3・通	21		○			○		○	○
51	○		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	3・後	11		○			○		○	
52	○		就職実務Ⅲ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施し内定獲得につなげる。	3・前	10		○			○		○	
53	○		実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての心構えと役割を理解する事が出来る。	3・後	120				○	○	○		
合計						53	科目	3179 単位（単位時間）						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席		1 学年の学期区分	2 期
履修方法：必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講		1 学期の授業期間	1期：4/1-8/31 2期：9/1-3/31

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー		平成21年3月25日		中野 勲次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町134-38 (電話) 053-455-2550			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人 爽青会		平成20年3月21日		理事長 中野 勲次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-450-0820			
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
文化・教養	専門課程（文化・教養関係）		ペットエステ・トリミング科 2年制		平成27(2015)年度	-	平成26(2014)年度		
学科の目的		飼主様の要望を正確に表現できるトリミング技術を持ち、犬との共存社会に笑顔を提供できるドッグトリマーを育成する。							
学科の特徴（取得可能な資格、中途退学者等）		取得可能資格：ペットエスティシャンブロンズクラス/サービス接遇検定3級/愛玩動物飼養管理士2級/コミュニケーション検定初級 中途退学者：1名(退学率2.7%)							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		2,114 単位時間	346 単位時間	0 単位時間	1,768 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
		単位		単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員 (A)		留学生数（生徒実員の内数）(B)		留学生割合 (B/A)				
60 人	43 人		0 人		0 %				
就職等の状況	■卒業者数 (C)		19 人						
	■就職希望者数 (D)		19 人						
	■就職者数 (E)		19 人						
	■地元就職者数 (F)		12 人						
	■就職率 (E/D)		100 %						
	■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)		63 %						
	■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)		100 %						
	■進学者数		0 人						
	■その他								
	(令和 5 年度卒業者にに関する令和 6 年 5 月 1 日時点の情報)								
■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) トリミングサロン、動物病院、ペットショップ									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体： 受審年月： 評価結果を掲載したホームページURL								
当該学科のホームページURL	https://www.rap.ac.jp/course/pg/								
企業等と連携した実習等の実施状況（A、Bいずれかに記入）	(A：単位時間による算定)								
	総授業時数		2,114 単位時間						
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間						
	うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間						
	うち必修授業時数		2,114 単位時間						
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間						
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間						
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		200 単位時間						
	(B：単位数による算定)								
	総授業時数		単位						
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位						
	うち企業等と連携した演習の授業時数		単位						
	うち必修授業時数		単位						
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位						
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位						
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位						
教員の属性（専任教員について記入）	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者（専修学校設置基準第41条第1項第1号）		2 人						
	② 学士の学位を有する者等（専修学校設置基準第41条第1項第2号）		1 人						
	③ 高等学校教諭等経験者（専修学校設置基準第41条第1項第3号）		0 人						
	④ 修士の学位又は専門職学位（専修学校設置基準第41条第1項第4号）		0 人						
	⑤ その他（専修学校設置基準第41条第1項第5号）		1 人						
	計		4 人						
	上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数		2 人						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（１）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

（２）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

（３）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
伊藤 雪野	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
村木 美里	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
藤野 愛美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
鈴木 茜里	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
浅野 順平	TeRRleRge 代表取締役社長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③
櫻井 春輝	株式会社ルミナス 代表取締役	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③
福山 貴昭	ヤマザキ動物看護大学 准教授	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（４）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）

教育課程編成委員会は12月および2月の年2回開催とする（外部委員検討中）

（開催日時（実績））

第1回 令和5年9月27日 13:00-14:30

第2回 令和6年2月8日 10:00-11:30

（５）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

①トリマーを目指す学生が学べき皮膚病に関する知識レベルを確認し、犬猫健康管理学の授業で皮膚疾患の症状についての内容を追加。また薬品メーカーによる、薬用シャンプーに関する特別セミナーを実施。
②それぞれの病院・店舗で使っているカウンセリングシートを参考に、ルネサンス独自のカウンセリングシートを作成し、実習時の受付対応にて飼主様の要望や悩みを聞き出す実践を行った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（１）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

トリマーは接客業であり、コミュニケーション力は必須のビジネススキルである。接客スキルの向上を目的に、元キャビンアテンダント等高い接客技術を持つ講師を派遣していただける企業を選定している。また、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導から学修成果の評価を行うなどの体制をとることが可能な企業を選定している。

（２）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から1月にかけて、週1日90分間の授業を27回実施。トリミングスキルと同等以上にトリマーに求められるコミュニケーション力・接客力を向上させるため、講義系授業においてもロールプレイングを交えた指導を実施。普段の授業の理解度と積極性、また筆記試験による習得度の確認の上、評価している。

（３）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
接客技術Ⅰ	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、サービス接客検定に合格する。	浜松ビジネススクール
接客技術Ⅱ	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイングを交えて学び、ビジネス実務マナー検定に合格する。	浜松ビジネススクール

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（１）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条（教育）に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

（２）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	かわいいカットセミナー	連携企業等：	株式会社ブランテージ
期間：	令和5年6月22日（木）	対象：	ペットエステ・トリミング科 教務3名
内容	グルーミングでのワンちゃんのかわいい顔バランスの考え方、ポメラニアンのかわいいカットについて		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	新任教員研修	連携企業等：	静岡県職業教育振興会
期間：	令和5年8月5日（金）	対象：	ペットエステ・トリミング科 教務1名
内容	専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定証」を受け取ることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。		

（３）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	犬に優しいカットセミナー	連携企業等：	株式会社ブランテージ
期間：	令和6年9月10日（火）	対象：	ペットエステ・トリミング科 教務4名
内容	犬の扱い方、犬に優しいトリミング技術について学ぶ		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	新任教員研修	連携企業等：	静岡県職業教育振興会
期間：	令和6年8月7日（月）、8月8日（火）	対象：	ペットエステ・トリミング科 教務1名
内容	専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定証」を受け取ることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流（必要に応じて）

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い→再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置、就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf

公表時期: 令和6年5月12日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3) 教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(説明会での説明)

URL: <https://www.rap.ac.jp/about/information/>

公表時期: 随時

授業科目等の概要

(専門課程 (文化・教養関係) ペットエステ・トリミング科2年制)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			人と動物の関係学Ⅰ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	1・通	15		○				○		○	
2	○			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級に合格する。	1・通	54		○			○			○	
3	○			グルーミング研究Ⅰ	グルーミングに関するテーマを設定し、自身で探究したものをプレゼンできる。	1・後	16				○	○		○		
4	○			犬猫の健康管理学Ⅰ	犬猫の栄養管理、ワクチン接種、寄生虫、解剖を学び、健康チェックを行う事が出来る。	1・前	22		○			○		○		
5	○			犬種学	FCIで行われている犬種のグループ分けに従い、歴史、特徴を理解し、トリミングを行う事が出来る。	1・前	11		○			○		○		
6	○			動物関連施設実習	動物関連施設の視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1・特別	30				○		○	○		
7	○			動物飼育実習Ⅰ	学校飼育動物（犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ）を通して飼育管理ができる。	1・通	54				○	○		○		
8	○			グルーミング実習Ⅰ	犬のグルーミングを通して、犬の保定、手順、時間配分、犬とのコミュニケーションを身に付ける。	1・通	585				○	○		○	○	
9	○			動物看護実習Ⅰ	動物病院で行われている、健康診断、保定、消毒方法、検査を身に付ける。	1・後	32				○	○		○		
10	○			ドッグトレーニング実習Ⅰ	犬への基本的なしつけを行いながら、その方法を学び、行動学的観点から犬の扱い方を身に付ける。	1・前	22				○	○		○		
11	○			トリマー接客技術Ⅰ	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、サービス接客検定に合格する。	1・通	54		○			○			○	○
12	○			コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付ける。	1・前	22				○	○		○		
13	○			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1・後	16		○			○		○		
14	○			清掃Ⅰ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1・通	27				○	○		○		
15	○			挨拶Ⅰ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1・通	27				○	○		○		
16	○			就職実務Ⅰ	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を開始できる。	1・後	16		○			○		○		
17	○			ルネサンス・メソッド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図る。	1・通	20		○			○		○		
18	○			人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2・通	6		○				○		○	
19	○			ペットショップ実務	業界動向を知り、ペットショップでの販売や売り上げなど、実践的な実務を理解することができる。	2・後	11		○			○		○		

[illegible]

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講		1 学期の授業期間	1期：4/1-8/31 2期：9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー		平成21年3月25日		中野 勸次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町134-38 (電話) 053-455-2550		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人爽青会		平成20年3月21日		理事長 中野 勸次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-450-0820		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
文化・教養	専門課程（文化・教養関係）		ドッグ・ウェルネス科		平成29（2017）年度	-	平成26（2014）年度	
学科の目的		犬の健康と長生きを支えるとともに、飼い主に運動・食事・しつけを楽しく教え、犬との生活全般のアドバイスのできる犬の専門家を育成する。						
学科の特徴（取得可能な資格、中途退学者等）		取得可能資格：愛玩動物飼養管理士2級/サービス接遇検定3級/ペット栄養管理士/マナーハンドラーテスト 中途退学者：4名（中途率：8.3%）						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	2,053 単位時間	554 単位時間	0 単位時間	1,499 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員（A）		留学生数（生徒実員の内数）（B）		留学生割合（B/A）			
80 人	63 人		0 人		0 %			
就職等の状況	■卒業者数（C）		13 人					
	■就職希望者数（D）		13 人					
	■就職者数（E）		13 人					
	■地元就職者数（F）		7 人					
	■就職率（E/D）		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合（F/E）							
			54 %					
	■卒業者に占める就職者の割合（E/C）		100 %					
	■進学者数		0 人					
	■その他							
		（令和 5 年度卒業者に關する令和6年5月1日時点の情報）						
		■主な就職先、業界等 （令和5年度卒業生） ペットショップ、動物病院、ドッグリゾートホテル、トレーニング施設						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体： 受審年月： 評価結果を掲載したホームページURL							
当該学科のホームページURL	https://www.rap.ac.jp/course/dw/							
企業等と連携した実習等の実施状況（A、Bいずれかに記入）	（A：単位時間による算定）							
	総授業時数				2,053 単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				0 単位時間			
	うち必修授業時数				1,885 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				0 単位時間			
	（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）				200 単位時間			
	（B：単位数による算定）							
	総授業時数				単位			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				単位			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				単位			
	うち必修授業時数				単位			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				単位			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				単位			
	（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）				単位			
教員の属性（専任教員について記入）	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であつて、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者（専修学校設置基準第41条第1項第1号）				1 人			
	② 学士の学位を有する者等（専修学校設置基準第41条第1項第2号）				1 人			
	③ 高等学校教諭等経験者（専修学校設置基準第41条第1項第3号）				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位（専修学校設置基準第41条第1項第4号）				0 人			
	⑤ その他（専修学校設置基準第41条第1項第5号）				0 人			
	計				2 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数				1 人			

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在			
名 前	所 属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
北風 孝広	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
山形 幸輔	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
東海林 克彦	公益社団法人 日本愛玩動物協会 会長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
山下 宏幸	株式会社コジマ 常務取締役	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)
年2回 (8月、2月)

(開催日時(実績))
第1回 令和6年8月29日 17:00-18:00
第2回 令和7年2月27日 13:30-15:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
専門学校におけるキャリア教育を通じて、退学抑止や卒業後の早期離職抑止に繋がるカリキュラム案の構築を検討していたが、委員より最も重要なのは人と人の関係、教員と学生の距離感であるとの意見があった。専門教育に+αの要素を見つけていく・学生との距離感、コミュニケーションを取っていくことに関して今後の検討課題とした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（１）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ドッグトレーナーは接客業であり、コミュニケーション力は必須のビジネススキルである。接客スキルの向上を目的に、高い接客技術を持つ講師を派遣していただける企業を選定している。また、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導から学修成果の評価を行うなどの体制をとることが可能な企業を選定している。

（２）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から1月にかけて、飼い主様との円滑なコミュニケーションを図り、適切なカウンセリングが行えるよう、接客対応の専門家から接客対応について学んでいる。専門性の高い授業であり、知識を身に付けたことを確認するため、実技試験と課題による評価を実施している。

（３）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ビジネス接客マナー	動物業界におけるビジネスマナーとコミュニケーション技法を習得し、飼い主と社会人として適切な会話ができることを目指す。	浜松ビジネススクール
ビジネスコミュニケーション	インターンシップ先（就職先）で必要になる社会人ビジネス常識を身につける。	浜松ビジネススクール
接客ロールプレイ・飼主カウンセリング	身につけた問題行動の知識を使って、飼い主カウンセリングができる。	浜松ビジネススクール

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にやっていること。」関係

（１）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条（教育）に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

（２）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	ANIMALPIC FESTA in 浜名湖	連携企業等：	株式会社 COREZON
期間：	令和5年9月30日（土）-10月1日（日）	対象：	ドッグ・ウェルネス科 教務2名
内容	本校で強化しているペットツーリズムの一環として、ペットと一緒にアウトドアを楽しむという、新しいライフスタイルを提案するイベントの企画検討スタッフとして参加した。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	マナーアップ研修	連携企業等：	株式会社 浜松ビジネススクール
期間：	令和6年3月4日（月）	対象：	ドッグ・ウェルネス科 教務2名
内容	接客マナーとして印象管理、身だしなみ、来客対応と訪問マナー、電話対応等のビジネススキルの習得。		

（３）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	ペットツーリズム取材の方法と実践	連携企業等：	THE SCENE hamanako
期間：	令和6年度内	対象：	ドッグ・ウェルネス科 教務2名
内容	本校で強化しているペットツーリズムの一環として、ペットと一緒に宿泊体験を行うことで、その楽しさを伝えること、そして受け入れ側のサービス接客等を学ぶ。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	webライティング講座	連携企業等：	浜松浜名湖ツーリズムビューロー
期間：	令和6年度内	対象：	ドッグ・ウェルネス科 教務1名
内容	ペットツーリズム等の情報発信について、SNSやブログ等におけるSEO対策から読者に伝わる文章や写真についてレクチャーを受ける。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流（必要に応じて）

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い

→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置
就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL : https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf

公表時期 : 令和6年5月12日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革（公式WEBサイト）
(2) 各学科等の教育	学科紹介（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(3) 教職員	講師・設備（公式WEBサイト）
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ（公式WEBサイト）
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ（公式WEBサイト）
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類（公式WEBサイト）
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書（公式WEBサイト）
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(説明会での説明)

URL : <https://www.rap.ac.jp/about/information/>

公表時期 : 随時

授業科目等の概要

(専門課程 (文化・教養関係) ドッグ・ウェルネス科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
	必 修	選 択 必 修	自由 選 択						講 義	演 習	実験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			人と動物の関係学Ⅰ	【集中講義】人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動・療法・教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。	1・通	15		○				○		○	
2	○			ドッグ・ウェルネス概論	犬の健康維持・増進のための生理・習性・生態等について、ペット栄養学、しつけ学、動物福祉等を学び、ドッグトレーナーとして顧客対応する際の基礎知識を体得する。	1・通	54		○				○		○	
3	○			心理学概論	広い視野でものごとを捉えられるしなやかな心を持つ。授業を受ける前後で、ものごとの捉え方が変わった事を認識出来る。	1・前	22		○				○			○
4	○			動物看護学Ⅰ	犬猫のかかりやすい病気や感染症の感染経路、予防法を理解すると共に、身体の構造、筋骨格・呼吸器・消化器・循環器・泌尿器・内分泌系の機能を理解し、ペットショップや動物病院で働く知識を身につける。	1・通	54		○				○		○	
5	○			飼養管理士総論	動物関連の法規について理解を深め、個体に合った適正飼育を飼い主に指導できる愛玩動物飼養管理士2級合格を目指す。	1・通	54		○				○			○
6	○			ドッグフィットネス概論Ⅰ	動物のフィットネスの歴史と現状を知り、犬のウェルネスクエアと管理の重要性を理解する。	1・通	27				○		○			○
7	○			ペット産業研究	ペットビジネスの基礎知識としてペット業界を俯瞰する。流通・小売の知識を活かし、職場で実践できる。	1・通	54		○				○		○	
8	○			行動学	ドッグトレーナーとして犬の行動学の知識を吸収し、その知識を飼い主へフィードバックできるようにする。	1・通	26				○	○				○
9	○			ドッグトレーニング実習Ⅰ	犬のモチベーションをコントロールし、正の強化・負の罰を主としたトレーニング技術を習得できることを目指す。	1・通	108				○	○		○		
10	○			ドッグフィットネス実習Ⅰ	プールやバランスボールなどを使った、ドッグフィットネスの技術習得を目指す。	1・通	54				○	○				○
11	○			動物看護実習Ⅰ	動物病院で必要とされる動物病院スタッフの役割を理解し、消毒・滅菌・保定・診察業務全般スキルの習得を目指す。	1・通	108				○	○		○		
12	○			グルーミング実習	犬のグルーミングに関する知識と技術を学び、コミュニケーション力とグルーミング技術の習得を目指す。	1・通	56				○	○				○
13	○			動物飼育実習Ⅰ	動物取扱者として必要な、犬・猫・ウサギ・モルモット・ハムスター・インコの適切な飼育方法を理解習得する。	1・通	54				○	○		○		
14	○			健康管理実習	ライフステージに応じた健康維持・増進の方法を学び、飼い主にアドバイスができる。	1・後	32				○	○				○
15	○			浜松市動物愛護教育センター実習	動物愛護センターで保護されている犬のトレーニングを行い、動物保護の現状を理解する。	1・後	6				○		○	○		
16	○			動物関連施設実習	最先端動物関連施設視察研修を行い、業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1・特別	30				○		○	○		
17	○			ビジネス接客マナー	動物業界におけるビジネスマナーとコミュニケーション技法を習得し、飼い主と社会人として適切な会話ができること、およびサービス接客検定3級合格を目指す。	1・通	54		○				○			○
18	○			コンピュータ実習Ⅰ	WordとExcelの使い方を理解し、実践的に使用する事が出来るようにする。	1・前	22				○	○		○		
19	○			スマイルコミュニケーション	人前で運動・食事・しつけ指導を行っている最中でも、笑顔で楽しく実技を行うことができる。	1・後	16		○				○			○
20	○			一般常識	研修日誌や手紙の書き方、電話対応のしかたを実践的に学び、自己分析ができるようにする。	1・通	26		○				○			○
21	○			就職実務Ⅰ	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴書の書き方、面接練習等を通して、目指す職種を明確にする。	1・後	16		○				○			○
22	○			清掃Ⅰ	トイレ・実習室・HR教室・校舎共有部分など、使う前よりきれいな清掃ができる。	1・通	27				○	○		○		
23	○			挨拶Ⅰ	笑顔で、明るいあいさつを、人より早くできる。	1・通	27				○	○		○		
24	○			ルネサンス・メソッド	本校の原点となる理念や考え方を履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図る。	1・通	20		○				○			○
25	○			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1・後	16		○				○			○
26	○			人と動物の関係学Ⅱ	【集中講義】人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動・療法・教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。	2・通	6		○				○			○
27	○			ペット栄養管理士総論	ペット栄養学の観点から犬種ごとの特徴や疾患別の食事管理等を理解する。	2・通	21		○				○			○

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー		平成21年3月25日		中野 勸次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町134-38 (電話) 053-455-2550		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人爽青会		平成20年3月21日		理事長 中野 勸次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-450-0820		
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
文化・教養	専門課程（文化・教養関係）	動物海洋飼育・アクアリウム科 （陸コース）		平成27(2015)年度	-	平成26(2014)年度		
学科の目的	幅広い知識をお客様と動物たちに還元し、自然・動物・人をつなぐ架け橋になれる飼育員を育成する。							
学科の特徴（取得可能な資格、中退率等）	取得可能資格：サービス接遇検定3級/愛玩動物飼養管理士2級 中途退学者：0人(中退率0%)							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,996 単位時間 単位	544 単位時間 単位	0 単位時間 単位	1,452 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)		留学生割合(B/A)				
100 人	63 人	0 人		0 %				
就職等の状況	■卒業者数 (C)		43	人				
	■就職希望者数 (D)		43	人				
	■就職者数 (E)		43	人				
	■地元就職者数 (F)		27	人				
	■就職率 (E/D)		100	%				
	■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)		63	%				
	■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)		100	%				
	■進学者数		0	人				
	■その他							
	(令和 5 年度卒業者に関する令和 6 年 5 月 1 日時点の情報)							
■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 水族館、アクアショップ、ペットショップ他								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体： 受審年月： 評価結果を掲載したホームページURL							
当該学科の ホームページ URL	https://www.rap.ac.jp/course/ac/							
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	(A：単位時間による算定)							
	総授業時数		2,016 単位時間					
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間				
		うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間				
		うち必修授業時数		1,836 単位時間				
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間				
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間				
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		200 単位時間				
	(B：単位数による算定)							
	総授業時数		単位					
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位				
		うち企業等と連携した演習の授業時数		単位				
		うち必修授業時数		単位				
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位				
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位				
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位				
教員の属性（専任教員について記入）	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者（専修学校設置基準第41条第1項第1号）		2 人					
	② 学士の学位を有する者等（専修学校設置基準第41条第1項第2号）		2 人					
	③ 高等学校教諭等経験者（専修学校設置基準第41条第1項第3号）		0 人					
	④ 修士の学位又は専門職学位（専修学校設置基準第41条第1項第4号）		0 人					
	⑤ その他（専修学校設置基準第41条第1項第5号）		0 人					
	計		3 人					
	上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね 5 年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数		3 人					

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在			
名 前	所 属	任期	種別
中野 勤次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
山崎 千華	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
熊本 恵実	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
原 理史	中部大学 中部高等学術研究所 国際ESD・SDGsセンター	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	②
山崎 宏 様	NP0法人ホールアース自然学校 代表理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)
年2回 (7月、2月)
(開催日時(実績))
第1回 令和6年9月27日 16:00-17:30
第2回 令和7年2月4日 13:30-15:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
・コロナ禍における採用と新入社員の変化を確認すると、よりインターン実習（現場経験）の必要性を訴えていた。学生の成長面、採用側の学生理解の両面において、インターンの積極的な参加を継続し実施する。
・動物園や水族館でのコロナ時の実際の苦労や対処の具体例は、時事問題の1つとして『動物園水族館学Ⅱ』のシラバスの1コマに組み込まれた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係		
（１）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 飼育員としてのさまざまな視点を養うため、講義・実習を含めて現役の飼育員やトレーナーを派遣して授業を行ってくれる企業を選出している。期末試験、実習日誌などをもとに、評価を頂く。 （２）実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 4月から7月にかけて、繁殖やドルフィン研修、展示方法において、自然と動物、人をつなぐ飼育人になることを目的として、現役のプロから実践的に学んでいる。専門性の高い授業であり、知識・技術を身に付けたことを確認するため、実技試験と課題による評価を実施している。 （３）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業意図を理解できる。	パロミノポニークラブ
鳥類学	鳥の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業意図を理解できる。	掛川花鳥園
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
（１）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 就業規則 第26条（教育）に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。 （２）研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名：	テンジクネズミ繁殖失敗の共有と検証	連携企業等： 豊橋総合動植物公園
期間：	令和6年3月5日（火）	対象： 動物海洋飼育・アクアリウム科 教務部 1名
内容	動物園獣医師による生体解剖の結果共有と検証	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名：	マナーアップセミナー	連携企業等： 浜松ビジネススクール
期間：	令和6年3月4日（月）	対象： 動物海洋飼育・アクアリウム科 教務部 2名
内容	職員のレベルアップと学生向けの指導力向上の為 信頼感を与える立ち居振る舞いやビジネスにふさわしい言葉選び等を職員向けに学ぶ	
（３）研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名：	登山引率講習	連携企業等： 一般財団法人 南アルプスみらい財団
期間：	令和6年9月予定	対象： 動物海洋飼育・アクアリウム科 教務部 2名
内容	南アルプス登山の研修を実施する為の、下見と安全講習について学ぶ	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名：	環境教育研修	連携企業等： 一般財団法人公園財団 プロジェクトワイルド事務局
期間：	令和6年12月10日（日）	対象： 動物海洋飼育・アクアリウム科 教務部 1名
内容	環境教育プログラムについての研修を受けファシリテーション技術を学ぶ	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流（必要に応じて）

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い

→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置
就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf
公表時期: 令和6年5月12日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革（公式WEBサイト）
(2) 各学科等の教育	学科紹介（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(3) 教職員	講師・設備（公式WEBサイト）
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ（公式WEBサイト）
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ（公式WEBサイト）
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類（公式WEBサイト）
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書（公式WEBサイト）
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(説明会での説明)
URL: <https://www.rap.ac.jp/about/information/>
公表時期: 随時

授業科目等の概要

(専門課程(文化・教養関係) 動物海洋飼育・アクアリウム科(陸コース))																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			人と動物の関係学Ⅰ	人と動物の関係に関して、現代社会における動物関連諸問題への関心を高められる。	1・通	15		○			○		○		
2	○			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級の資格取得ができる。	1・通	54		○			○		○		
3	○			犬猫管理学	犬・猫の成長やしつけ、食餌、解剖生理など全般の基礎知識を学び、正しい説明ができる。	1・通	27		○			○		○		
4	○			鳥類学	鳥の解剖生理や飼育管理方法をなど学び、現場での作業意図を理解できる。	1・前	22		○			○		○	○	
5	○			トピックス	現場で活躍する講演者の話を聞いて、さらなる探求心を発揮できる。	1・前	33		○			○		○		
6	○			動物園水族館学Ⅰ	動物園・水族館の社会に対する役割や専門用語について正しい説明ができる。	1・前	22		○			○		○		
7	○			自然環境学	地球の仕組みを理解し、国際的な取り組みと地球環境を学び、自分の考えを持つ事ができる。	1・前	22		○			○		○	○	
8	○			動物関連施設実習	最先端動物関連施設(動物園・水族館等)視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1・特別	30				○		○	○		
9	○			動物飼育実習Ⅰ	学校飼育動物(イヌ・ネコ・ハムスター・モルモット・フェレット・ウサギ・インコなど)を通して飼育管理の基礎ができる。	1・通	40				○	○		○		
10	○			アニマルトレーニング実習Ⅰ	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方の基礎を押さえた馴致ができる。	1・通	54				○	○		○		
11	○			動物看護実習Ⅰ	動物の健康管理、滅菌、消毒、各種検査を学び、基本的検査手順を進める事ができる。	1・前	22				○	○		○		
12	○			飼育実習 陸Ⅰ	学校飼育動物(フナ・フクロモツ・スナエミ・ハリエミ・カメ・ヘビ・トカゲなど)を通して基本的な飼育管理ができる。	1・通	122				○	○		○		
13	○			飼育実習 水Ⅰ	学校飼育魚類(淡水魚・海水魚)を通して基本的な飼育管理ができる。	1・通	121				○	○		○		
14	○			学外演習Ⅰ	飼育施設と現場スタッフの講義等を通して、業界と飼育員像を理解できる。	1・後	112				○		○	○		
15		○		【選択】畜産学実習	畜産動物の業界や家畜の解剖生理・病気の治療などを知り、就職先の1つとして検討できる。	1・後	48				○	○			○	
16		○		【選択】ダイビング実習	潜水士試験の突破 及び PADIオープンウォーターダイバーの資格取得を出来るようになる。	(1・後)	(48)				○		○		○	
17	○			コンピュータ実習	ワード、パワーポイント等の基本的な使用方法を身に付け、パソコンでのレポート作成ができる。	1・前	22				○	○		○		
18	○			プレゼンテーショントレーニングⅠ	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事、及びサービス接客検定3級合格を目指す。	1・通	54		○			○			○	
19	○			挨拶Ⅰ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1・通	27				○	○		○		
20	○			掃除Ⅰ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1・通	27				○	○		○		

21	○		就職実務Ⅰ	就職活動に臨む学生としての身だしなみ、履歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を開始できる。	1・後	32		○		○	○		
22	○		一般常識Ⅰ	動物園・水族館・アクアショップ・実験動物業界等の一般試験対策のきっかけをつくる。	1・後	16		○		○	○		
23	○		LHRⅠ	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1・前	11		○		○	○		
24	○		ルネサンス・メソッド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図る。	1・通	20		○		○	○		
25	○		人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2・通	6		○			○	○	
26	○		動物看護学Ⅱ	飼育や現場において看護に関する知識を利用することが出来る。	2・通	42		○		○	○		
27	○		動物園水族館学Ⅱ	歴史等を通して、動物園・水族館の存在価値や向き合う課題などを理解し持論を展開できる。	2・通	42		○		○	○		
28	○		動物福祉・健康学	動物種に合わせた動物福祉について学び、ペットのライフステージに合わせた配慮ができる。	2・後	22		○		○	○		
29	○		ペットショップ実務	ペットショップなど扱う周辺器材や販売方法について正しく理解し活用できる。	2・後	22		○		○	○		
30		○	【選択】馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法など学び現場での作業の意図を理解できる。	2・前	20		○		○		○	○
31		○	【選択】水族館展示学	展示技法の長所短所を理解し「お客様を満足させる」展示の提案が出来るようになる。	2・通	(22)		○		○		○	
32	○		動物飼育実習Ⅱ	1年生の7ヶ月間としての指導を通じ、世話と管理の飼い主への伝え方を実践できる。	2・前	30			○	○	○		
33	○		動物看護実習Ⅱ	1年次の履修を踏まえ、病院での基礎的補助作業を想定した、動きができる。	2・後	22			○	○	○		
34	○		グルーミング実習	犬への関わり方と被毛管理技術を理解し、手入れやシャンプーに取り組む事ができる。	2・後	16			○	○		○	
35	○		アニマルトレーニング実習Ⅱ	管理者側の主体性を発揮した馴致を、小動物などに対して実施できる。	2・通	42			○	○	○		
36	○		飼育実習 陸Ⅱ	各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育する要点を理解し、工夫を考える事ができる。	2・通	79			○	○	○		
37	○		飼育実習 水Ⅱ	各々担当水槽を持ち、飼育管理の応用と総合的な管理を実践できる。	2・通	79			○	○	○		
38	○		学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業を体験し、1年次の課題を克服できる。	2・前	70			○		○	○	
39	○		野生動物学実習	野生動物と人との関わり方など実践を通して学び、現場での作業の意図を理解できる。	2・前	20		○		○		○	
40	○		環境教育実習	お客様に伝える環境教育の指導法を、相モデルの実践を通して学び、活用できる。	2・後	22			○	○		○	
41	○		フィールドワーク	野生動物の生息環境について理解し、飼育環境において活用できる。	2・後	33			○		○	○	
42		○	【選択】移動動物園実習	移動動物園の運営を通して、飼育動物のふれあいを動物に安全にかつ楽しく実施できるようになる。	2・後	22			○	○		○	
43		○	【選択】海洋哺乳類実習	水族館における展示の工夫やお客様へのサービスを理解し、実践できる。	2・前	(20)			○	○		○	
44	○		インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととるべき姿を明確にする。	2・前	200			○		○	○	○

45	○		海外授業	海外における園館視察や研修を通じ世界で、動物飼育・ペットケアのありかたを学び、日本流のあり方を見出す。	2・後	30			○		○	○		
46	○		スマイルコミュニケーション	ガイドや日常生活の最中でも、笑顔で楽しく実技・会話を行うことができる。	2・前	10		○		○			○	
47	○		プレゼンテーショントレーニングⅡ	プレゼンテーションの経験を重ね、インターンなど学外でも自信ある発表ができる。	2・通	42		○		○			○	
48	○		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2・通	21			○	○		○		
49	○		掃除Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2・通	21			○	○		○		
50	○		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期内定に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施する。	2・前	10		○		○		○		
51	○		一般常識Ⅱ	動物園・水族館・実験動物業界等の多様な採用試験における、一般教養（筆記）試験での突破を目指す。	2・前	10		○		○		○		
52	○		LHRⅡ	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	2・前	10		○		○		○		
53	○		実務実習	動物業界の現場において、社会人としてまた新人スタッフとしての心構えと役割を学ぶ。	2・後	120			○	○		○		
合計						53	科目	2016 単位（単位時間）						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席		1 学年の学期区分	2 期
履修方法：必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講		1 学期の授業期間	1期：4/1-8/31 2期：9/1-3/31

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
専門学校ルネサンス・ベ ット・アカデミー		平成21年3月25日		中野 勤次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人爽育会		平成20年3月21日		理事長 中野 勤次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-450-0820		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
文化・教養	専門課程（文化・教養関係）		動物海洋飼育・アクアリウム科 （水コース）		平成27(2015)年度	-	平成26(2014)年度	
学科の目的	幅広い知識をお客様と動物たちに還元し、自然・動物・人をつなぐ架け橋になれる飼育員を育成する。							
学科の特徴（取得可能な資格、中途退学率等）	取得可能資格：サービス接遇検定3級/愛玩動物飼養管理士2級 中途退学者：0人(中途退学率0%)							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	2,016 単位時間	564 単位時間	0 単位時間	1,452 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員 (A)		留學生数 (生徒実員の内数) (B)		留學生割合 (B/A)			
100 人	81 人		0 人		0 %			
就職等の状況	■卒業者数 (C)		43 人					
	■就職希望者数 (D)		43 人					
	■就職者数 (E)		43 人					
	■地元就職者数 (F)		27 人					
	■就職率 (E/D)		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)		63 %					
	■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)		100 %					
	■進学者数		0 人					
	■その他							
	(令和 5 年度卒業者に関する令和 6 年 5 月 1 日時点の情報)							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：		無					
	※有の場合、例えば以下について任意記載							
当該学科のホームページ URL	https://www.rap.ac.jp/course/ac/							
企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	(A：単位時間による算定)							
	総授業時数				2,016 単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				0 単位時間			
	うち必修授業時数				1,836 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				0 単位時間			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				200 単位時間			
	(B：単位数による算定)							
	総授業時数				単位			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				単位			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				単位			
	うち必修授業時数				単位			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				単位			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				単位			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				単位			
教員の属性 (専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)				1 人			
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)				2 人			
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)				0 人			
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)				0 人			
	計				3 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね 5 年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定) の数				2 人			

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（１）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

（２）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

（３）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
山崎 千華	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
熊本 恵実	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
原 理史	中部大学 中部高等学術研究所 国際ESD・SDGsセンター	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	②
山崎 宏 様	NPO法人ホールアース自然学校 代表理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（４）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年2回 （7月、2月）

（開催日時（実績））

第1回 令和6年9月27日 16:00-17:30

第2回 令和7年2月4日 13:30-15:30

（５）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・コロナ禍における採用と新入社員の変化を確認すると、よりインターン実習（現場経験）の必要性を訴えていた。学生の成長面、採用側の学生理解の両面において、インターンの積極的な参加を継続し実施する。

・動物園や水族館でのコロナ時の実際の苦労や対処の具体例は、時事問題の1つとして『動物園水族館学Ⅱ』のシラバスの1コマに組み込まれた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係		
（１）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 飼育員としてのさまざまな視点を養うため、講義・実習を含めて現役の飼育員やトレーナーを派遣して授業を行ってくれる企業を選出している。期末試験、実習日誌などをもとに、評価を頂く。 （２）実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学習成果の評価における連携内容を明記 4月から7月にかけて、繁殖やドルフィン研修、展示方法において、自然と動物、人をつなぐ飼育人になることを目的として、現役のプロから実践的に学んでいる。専門性の高い授業であり、知識・技術を身に付けたことを確認するため、実技試験と課題による評価を実施している。 （３）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業意図を理解できる。	パロミノポニークラブ
鳥類学	鳥の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業意図を理解できる。	掛川花鳥園
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
（１）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 就業規則 第26条（教育）に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。 （２）研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名： テンジクネズミ繁殖失敗の共有と検証 期間： 令和6年3月5日（火） 内容： 動物園獣医師による生体解剖の結果共有と検証 連携企業等： 豊橋総合動植物公園 対象： 動物海洋飼育・アクアリウム科教務部 1名 ②指導力の修得・向上のための研修等 研修名： マナーアップセミナー 期間： 令和6年3月4日（月） 内容： 職員のレベルアップと学生向けの指導力向上の為信頼感を与える立ち居振る舞いやビジネスにふさわしい言葉選び等を職員向けに学ぶ 連携企業等： 浜松ビジネススクール 対象： 動物海洋飼育・アクアリウム科教務部 2名 （３）研修等の計画 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名： 登山引率講習 期間： 令和6年9月予定 内容： 南アルプス登山の研修を実施する為の、下見と安全講習について学ぶ 連携企業等： 一般財団法人 南アルプスみらい財団 対象： 動物海洋飼育・アクアリウム科教務部 2名 ②指導力の修得・向上のための研修等 研修名： 環境教育研修 期間： 令和6年12月10日（日） 内容： 環境教育プログラムについての研修を受けファシリテーション技術を学ぶ 連携企業等： 一般財団法人公園財団 プロジェクトワイルド事務局 対象： 動物海洋飼育・アクアリウム科教務部 1名		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流（必要に応じて）

※(10)及び(11)については任意記載。
(3) 学校関係者評価結果の活用状況
卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
→ 再就職希望者問い合わせメールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置
就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
URL : https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf
公表時期 : 令和6年5月12日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革（公式WEBサイト）
(2) 各学科等の教育	学科紹介（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(3) 教職員	講師・設備（公式WEBサイト）
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ（公式WEBサイト）
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ（公式WEBサイト）
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項（公式WEBサイト・学校案内パンフレット）
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類（公式WEBサイト）
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書（公式WEBサイト）
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。
(3) 情報提供方法
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(説明会での説明))
URL : <https://www.rap.ac.jp/about/information/>
公表時期 : 随時

授業科目等の概要

(専門課程 (文化・教養関係) 動物海洋飼育・アクアリウム科 (水コース))																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との 連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			人と動物の関係学Ⅰ	人と動物の関係に関して、現代社会における動物関連諸問題への関心を高められる。	1・通	15		○				○		○	
2	○			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級の資格取得ができる。	1・通	54		○				○			○
3	○			犬猫管理学	犬・猫の成長やしつけ、食餌、解剖生理など全般の基礎知識を学び、正しい説明ができる。	1・通	27		○				○			
4	○			鳥類学	鳥の解剖生理や飼育管理方法をなど学び、現場での作業意図を理解できる。	1・前	22		○				○			○
5	○			トピックス	現場で活躍する講演者の話を聞いて、さらなる探求心を発揮できる。	1・前	33		○				○			
6	○			動物園水族館学Ⅰ	動物園・水族館の社会に対する役割や専門用語について正しい説明ができる。	1・前	22		○				○			
7	○			自然環境学	地球の仕組みを理解し、国際的な取り組みと地球環境を学び、自分の考えを持つ事ができる。	1・前	22		○				○		○	
8	○			動物関連施設実習	最先端動物関連施設（動物園・水族館等）視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1・特別	30					○		○	○	
9	○			動物飼育実習Ⅰ	学校飼育動物（メ・ネコ・ハムスター・モルモット・フェレット・ウサギ・インコなど）を通して飼育管理の基礎ができる。	1・通	40					○	○		○	
10	○			アニマルトレーニング実習Ⅰ	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方の基礎を押さえた馴致ができる。	1・通	54					○	○		○	
11	○			動物看護実習Ⅰ	動物の健康管理、滅菌、消毒、各種検査を学び、基本的検査手順を進める事ができる。	1・前	22					○	○		○	
12	○			飼育実習 陸Ⅰ	学校飼育動物（フナ・フクロモツ・メダカ・ハナダ・メダカ・ハナダ・メダカなど）を通して基本的な飼育管理ができる。	1・通	122					○	○		○	
13	○			飼育実習 水Ⅰ	学校飼育魚類（淡水魚・海水魚）を通して基本的な飼育管理ができる。	1・通	121					○	○		○	
14	○			学外演習Ⅰ	飼育施設と現場スタッフの講義等を通して、業界と飼育員像を理解できる。	1・後	112					○		○	○	
15		○		【選択】畜産学実習	畜産動物の業界や家畜の解剖生理・病気の治療などを学び、就職先の1つとして検討できる。	1・後	48					○	○			○
16		○		【選択】ダイビング実習	潜水士試験の突破 及び PADIオープンウォーターダイバーの資格取得を出来るようになる。	(1・後)	(48)					○		○		○
17	○			コンピュータ実習	ワード、パワーポイント等の基本的な使用方法を身に付け、パソコンでのレポート作成ができる。	1・前	22					○	○		○	
18	○			プレゼンテーションⅠ	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事、及びサービス接客検定3級合格を目指す。	1・通	54		○				○			○
19	○			挨拶Ⅰ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1・通	27					○	○		○	
20	○			掃除Ⅰ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1・通	27					○	○		○	
21	○			就職実務Ⅰ	就職活動に臨む学生としての身だしなみ、履歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を開始できる。	1・後	32		○				○			○
22	○			一般常識Ⅰ	動物園・水族館・アクアショップ・実験動物業界等の一般試験対策のきっかけをつくる。	1・後	16		○				○		○	

23	○		LHR I	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1・前	11		○			○		○				
24	○		ルネサンス・メソッド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図る。	1・通	20		○			○		○				
25	○		人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2・通	6		○					○		○		
26	○		動物看護学Ⅱ	飼育や現場において看護に関する知識を利用することが出来る。	2・通	42		○			○		○				
27	○		動物園水族館学Ⅱ	歴史等を通して、動物園・水族館の存在価値や向き合う課題などを理解し持論を展開できる。	2・通	42		○			○		○				
28	○		動物福祉・健康学	動物種に合わせた動物福祉について学び、ペットのライフステージに合わせた配慮ができる。	2・後	22		○			○		○				
29	○		ペットショップ実務	ペットショップなど扱う周辺器材や販売方法について正しく理解し活用できる。	2・後	22		○			○		○				
30		○	【選択】馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法など学び現場での作業の意図を理解できる。	2・前	20		○			○				○		○
31		○	【選択】水族館展示学	展示技法の長所短所を理解し「お客様を満足させる」展示の提案が出来るようになる。	2・通	(22)		○			○				○		
32	○		動物飼育実習Ⅱ	1年生の7/31時点としての指導を通じ、世話と管理の飼い主への伝え方を実践できる。	2・前	30					○	○		○			
33	○		動物看護実習Ⅱ	1年次の履修を踏まえ、病院での基礎的補助作業を想定した、動きができる。	2・後	22					○	○		○			
34	○		グルーミング実習	犬への関わり方と被毛管理技術を理解し、手入れやシャンプーに取り組む事ができる。	2・後	16					○	○				○	
35	○		アニマルトレーニング実習Ⅱ	管理者側の主体性を発揮した馴致を、小動物などに対して実施できる。	2・通	42					○	○		○			
36	○		飼育実習 陸Ⅱ	各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育する要点を理解し、工夫を考える事ができる。	2・通	79					○	○		○			
37	○		飼育実習 水Ⅱ	各々担当水槽を持ち、飼育管理の応用と総合的な管理を実践できる。	2・通	79					○	○		○			
38	○		学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業を体験し、1年次の課題を克服できる。	2・前	70					○		○	○			
39	○		野生動物学実習	野生動物と人との関わり方など実践を通して学び、現場での作業の意図を理解できる。	2・前	20		○			○					○	
40	○		環境教育実習	お客様に伝える環境教育の指導法を、相モデルの実践を通して学び、活用できる。	2・後	22					○	○				○	
41	○		フィールドワーク	野生動物の生息環境について理解し、飼育環境において活用できる。	2・後	33					○		○	○			
42		○	【選択】移動動物園実習	移動動物園の運営を通して、飼育動物のふれあいを動物に安全にかつ楽しく実施できるようになる。	2・後	22					○	○				○	
43		○	【選択】海洋哺乳類実習	水族館における展示の工夫やお客様へのサービスを理解し、実践できる。	2・前	(20)					○	○				○	
44	○		インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととるべき姿を明確にする。	2・前	200					○		○	○			○
45	○		海外授業	海外における園館視察や研修を通じ世界で、動物飼育・ペットケアのありかたを学び、日本流のあり方を見出す。	2・後	30					○		○	○			
46	○		スマイルコミュニケーション	ガイドや日常生活の最中でも、笑顔で楽しく実技・会話を行うことができる。	2・前	10		○			○					○	
47	○		プレゼンテーショントレーニングⅡ	プレゼンテーションの経験を重ね、インターンなど学外でも自信ある発表ができる。	2・通	42		○			○					○	
48	○		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2・通	21					○	○		○			

49	○		掃除Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2・通	21			○	○	○		
50	○		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期内定に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施する。	2・前	10		○		○	○		
51	○		一般常識Ⅱ	動物園・水族館・実験動物業界等の多様な採用試験における、一般教養（筆記）試験での突破を目指す。	2・前	10		○		○	○		
52	○		LHRⅡ	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	2・前	10		○		○	○		
53	○		実務実習	動物業界の現場において、社会人としてまた新人スタッフとしての心構えと役割を学ぶ。	2・後	120			○	○	○		
合計					53	科目	2016 単位（単位時間）						

卒業要件及び履修方法				授業期間等	
卒業要件：卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席				1 学年の学期区分	2 期
履修方法：必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講				1 学期の授業期間	1期：4/1-8/31 2期：9/1-3/31

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。